

平成19年度  
やまぐち森林づくり県民税関連事業実績報告

平成20年9月12日

山口県農林水産部森林企画課・森林整備課

《資料内容のお問い合わせ先》  
山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班  
（担当者）江藤純嗣、松井良寛  
（電話番号）083-933-3464

## 目 次

---

---

1	平成19年度やまぐち森林づくり県民税関連事業の実績及び税収実績	..... p.1
2	平成19年度税収不足額等の取り扱い	..... p.3
3	平成19年度県民税関連事業実施実績	..... p.4
4	事業の効果	..... p.15
5	実績報告の周知方法	..... p.20

### 資料編

1	健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）	..... p.21
2	県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）	..... p.28
3	独自課税を活用した主な事業の内容	..... p.31
4	事業の効果	..... p.33

# 1 平成19年度やまぐち森林づくり県民税関連事業の実績及び税収実績

## (1) 事業実績総括表

平成19年度については、やまぐち森林づくり県民税の税収額を4億21百万円と見込み、市町徴収取扱費2百万円を除き、平成17年度剰余金4百万円を加えた4億23百万円を事業費として、公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの県民税関連事業を実施した。

各種事業の実績は次表のとおりです。また、事業費については、事業実施の際の端数調整の結果として399,707円の残余となった。

(事業費の単位；円)

区分		平成19年度事業		5年間の 整備目標
		予算	決算見込(注)	
健全で多様な森林づくりの推進(ハード事業)				
公益森林整備事業	整備面積	570 <sup>㌥</sup>	577.49 <sup>㌥</sup>	2,500 <sup>㌥</sup>
	事業費	286,000,000	285,996,900	
竹繁茂防止緊急対策事業	整備面積	68 <sup>㌥</sup>	73.56 <sup>㌥</sup>	300 <sup>㌥</sup>
	再生竹除去面積	324.85 <sup>㌥</sup>	324.85 <sup>㌥</sup>	
	事業費	96,903,000	96,695,450	
やすらぎの森整備事業	整備箇所	3箇所	3箇所	15箇所
	事業費	30,000,000	29,998,700	
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	2 <sup>㌥</sup>	2 <sup>㌥</sup>	10 <sup>㌥</sup>
	事業費	5,000,000	4,999,550	
県民との協働による森林づくりの推進(ソフト事業)				
県民との協働による 百年の森づくり推進事業	事業費	5,000,000	4,812,693	-
事業費計		422,903,000	422,503,293	(残余額) 399,707

(注) 12月県議会で承認されて正式な決算額となるため、現時点では決算見込額となる。

## (2) 平成19年度までの3年間の事業実績

平成19年度までの3年間の公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業など各種事業の実績は、次表のとおりである。

(事業費の単位；千円)

区分		平成17年度 平成18年度	平成19年度	3年間の 事業実績	5年間の 整備目標
健全で多様な森林づくりの推進(ハード事業)					
公益森林 整備事業	整備面積	684.45 <sup>㊦</sup>	577.49 <sup>㊦</sup>	1,261.94 <sup>㊦</sup>	2,500 <sup>㊦</sup>
	事業費	341,899	285,997	627,896	
竹繁茂防止緊急 対策事業	整備面積	324.85 <sup>㊦</sup>	73.56 <sup>㊦</sup>	398.41 <sup>㊦</sup>	300 <sup>㊦</sup>
	再生竹除去面積	159.60 <sup>㊦</sup>	324.85 <sup>㊦</sup>	484.45 <sup>㊦</sup>	
	事業費	226,318	96,695	323,013	
やすらぎの森 整備事業	整備箇所	6箇所	3箇所	9箇所	15箇所
	事業費	59,998	29,999	89,997	
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	4 <sup>㊦</sup>	2 <sup>㊦</sup>	6 <sup>㊦</sup>	10 <sup>㊦</sup>
	事業費	9,997	5,000	14,997	
県民との協働による森林づくりの推進(ソフト事業)					
県民との協働に よる百年の森 づくり推進事業	事業費	12,260	4,813	17,073	
事業費計		650,472	422,503	1,072,976	

(注) 四捨五入により内訳と合計が一致しない場合がある。

### (3) 税収実績

平成19年度の税収実績は417,461,202円で、市町徴収取扱費を除いた税収(事業費充当額)は、当初見込額を3,915,842円下回った。

(単位；円)

区分	予算額 ( )	決算見込額(注) ( )	増減 ( - )
(1) 税収額	421,374,000	417,461,202	3,912,798
(2) 市町徴収取扱費 (個人県民税の7%)	2,255,000	2,257,545	2,545
(3) 平成17年度剰余金	3,784,000	3,783,501	499
(4)=(1)-(2)+(3)事業費充当額 (市町徴収取扱費控除後の額)	422,903,000	418,987,158	3,915,842

(注) 12月県議会で承認されて正式な決算額となるため、現時点では決算見込額となる。

#### (4) 不足額について

平成19年度については、税込減収及び事業実施の際の端数調整の結果として、当初見込額を3,516,135円下回る結果となった。

区分	金額(円)	摘要
(1) 税込減収額	3,915,842	
(2) 事業費残余额	399,707	
(1)+(2) 不足額	3,516,135	

## 2 平成19年度税込不足額等の取り扱い

前述のとおり、平成19年度の森林づくり県民税の税込決算見込額は、平成19年度の事業費を3,516,135円下回る結果となったが、現行の県民税の期間満了後(平成22年度以降)に納期が到来する税額として約90百万円の税込が確実に見込まれるので、平成22年度において財源の調整を行うこととした。

### 3 平成19年度県民税関連事業実施実績

#### (1) 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業など荒廃森林の再生のために実施を計画しているハード4事業については、いずれも当初計画を達成した。

##### 公益森林整備事業

荒廃したスギやヒノキの人工林を対象に本数率で40%以上を伐採し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林へ誘導する本事業については、18市町601箇所で実施し、当初計画を上回る577.49%の整備を行った。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	570%	577.49%	101%	
事業費	286,000,000円	285,996,900円		

(注) 事業実績の詳細は資料編p.21～p.22を参照。

#### 実施例 1

(位置図)

##### 【概要】

場所	美東町大字綾木字道角
面積	1.51%
施行内容	スギ・ヒノキ36年生の強度間伐、林内の整理



(施行前)



(施行後)

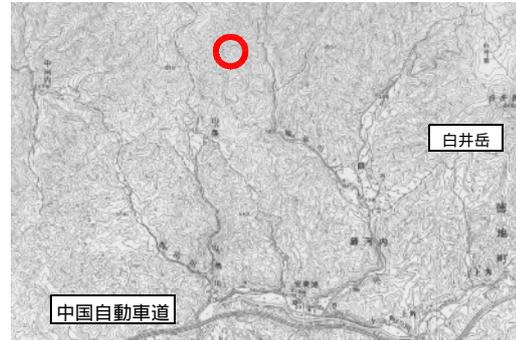


## 実施例 2

(位置図)

### 【概要】

場所	山口市徳地鯖河内
面積	8.73㌥
施行内容	スギ・ヒノキ41～52年生の強度間伐、林内の整理



(施行前)

(施行後)

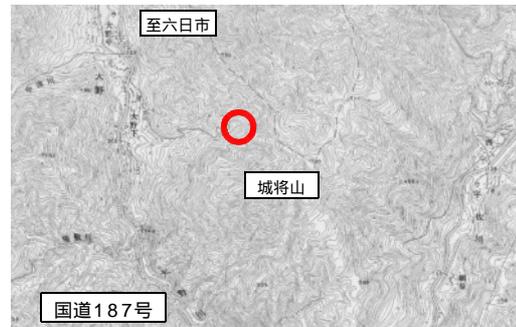


## 実施例 3

(位置図)

### 【概要】

場所	岩国市錦町大野
面積	0.70㌥
施行内容	ヒノキ39年生の強度間伐、林内の整理



(施行前)

(施行後)



## 竹繁茂防止緊急対策事業

水源地や公共施設、住宅地の周辺などにおける繁茂竹林を対象に、繁茂した竹の全伐と再生竹の除去を行い、自然林への回復を誘導する本事業については、20市町37箇所で実施し、当初計画を上回る73.56%の整備を行った。

また、平成19年度には、平成17年度及び平成18年度に竹の全伐を行った箇所（21市町127箇所；324.85%）について再生竹の除去を行った。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	68%	73.56%	108%	
再生竹除去面積	324.85%	324.85%	100%	
事業費	96,903,000円	96,695,450円		

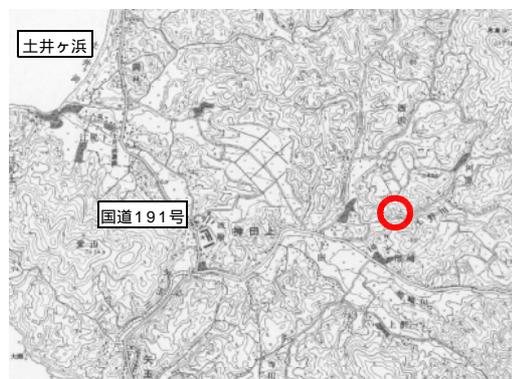
（注）事業実績の詳細は資料編p.23～p.25を参照。

### 実施例 1

（位置図）

#### 【概要】

場所	下関市豊北町大字神田上
面積	1.57%
施行内容	広葉樹林に侵入した竹の伐採、林内の整理



（施行前）

（施行後）



**実施例 2**

(位置図)

**【概要】**

場所	平生町大字大野北字高田
面積	2.12㊦
施行内容	広葉樹林に侵入した竹の伐採、林内の整理



(施行前)



(施行後)



**実施例 3**

(位置図)

**【概要】**

場所	萩市川上字佐古
面積	0.65㊦
施行内容	再生竹の除去、林内の整理



(施行前)



(施行後)



## やすらぎの森整備事業

県民の皆様が身近な場所で森林とふれあい、森林の持つ多面的な機能を理解していただくための場づくりの整備を行う本事業は、県内3箇所の整備を計画し、この計画どおり実施した。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備箇所	3箇所	3箇所	100%	柳井市柳井 周南市須々万 下関市菊川町
事業費	30,000,000円	29,998,700円		

(注) 事業実績の詳細は資料編p.26を参照。

### 実施例

#### 【概要】

場所	周南市大字須々万
名称	ふれあいの森
施行内容	景観整備1,000平方 <sup>㍍</sup> 遊歩道140 <sup>㍍</sup> バリアフリースイレ1棟

#### (位置図)



#### (遊歩道)



#### (バリアフリースイレ)



## 魚つき保安林等海岸林整備事業

松くい虫や台風などの被害により荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備について、2市町2箇所を実施し、当初計画の2割の整備を行った。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	2割	2割	100%	長門市西深川小松原(0.50割)
事業費	5,000,000円	4,999,550円		阿武町奈古松原(1.50割)

(注) 事業実績の詳細は資料編p.27を参照。

### 実施例

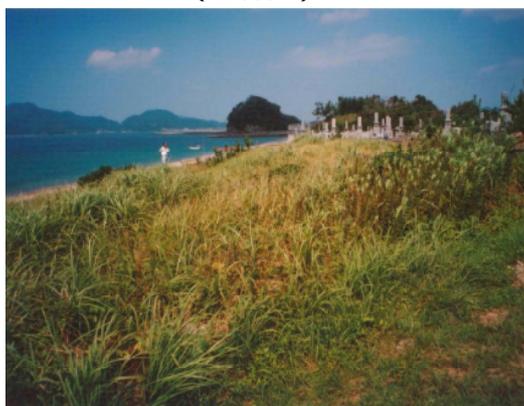
#### 【概要】

場所	長門市西深川小松原
面積	0.50割
施行内容	抵抗性きらら松 317本 防風垣設置 65延

#### (位置図)



#### (施行前)



#### (施行後)



## (2) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

県民税導入3年目である平成19年度は、税制度の導入目的や内容などについて県民への一層の周知を図るとともに、具体的な税の使途について理解促進を図るため、各種の周知活動に取り組んだ。

また、事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見をお聴きしながら進めるため、事業の進捗に合わせて「やまぐち森林づくり推進協議会」を開催し、ご意見を反映しながら進めた。

### 周知活動

県民への一層の周知を図るため、「やまぐち森林づくりフェスタ」の開催や公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの事業地を活用したイベントの開催など各種活動を実施し、制度の導入目的や内容などの周知を行った。

また、平成19年5月に行われた「県政世論調査」の結果では、森林づくり県民税の周知率は30.7%となっている（調査対象；県内に在住する20歳以上の男女3,000人、有効回収数；1,666人、回収率；55.5%）。

### 実施例

#### パネル等を活用した広報活動



きらら物産交流フェアでのパネル展示



県庁1階でのパネル展示

（注）周知活動の概要は資料編p.28を参照。

### やまぐち森林づくりフェスタの開催

- 1 開催日時：平成19年10月28日（日曜日） 午前10時から午後3時まで
- 2 開催場所：宇部市 常盤公園湖水ホール
- 3 来場者数：4,000人（目標：1,000人）



吉部小・稔小野緑の少年隊による  
森林づくり宣言



1,000人の森林づくりメッセージ



ヒノキの足湯を体験



チェーンソーカービングの実演



竹ポットにフラワーアレンジメント



竹細工工房（花器づくり）

（参考）平成17年度やまぐち森林づくりフェスタ；下関市深坂自然の森 来場者数：2,500人、  
平成18年度やまぐち森林づくりフェスタ；周南市和田小・中学校グラウンド 来場者数：3,000人

## やまぐち森林づくり推進協議会の開催

県民税関連事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見を反映させるため、有識者や公募委員など11名により構成される「やまぐち森林づくり推進協議会」を事業の導入に併せて設置し、その意見等をお聴きしながら事業を実施している。

委員の任期は2年で、税導入3年目となる平成19年度においては、事業の進捗に合わせ、計3回の協議会を開催した。

### (協議会における意見と事業等への反映例)

竹繁茂対策については、地域の要望も多く、県民の目にも触れやすく理解されているので、今後とも継続して実施していく必要があるのではないか。

次年度事業計画に竹の全伐の事業量を予算に応じて新たに追加計上。

評価システムは具体的な数値で示すほどわかりやすく県民の理解も高まると思うが、数値で評価できないものもある。どのような考え方で進めるのか。

できるだけ数値による評価を行うとともに、数値評価になじまない他の機能についても明示。

事業の効果を県民にわかりやすく示すため、評価システムを検討されているが、この見せ方が大切である。どのように考えているのか。

評価システムスキームにより県民の皆様にわかりやすくお示した。

## 実施例

### やまぐち森林づくり推進協議会の開催状況



協議の状況



事業評価システムの説明

(注) 協議会の概要は資料編p.28～p.29を参照。

## モデル林等の活用

公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業の内容や効果を県民の皆様へ周知し、理解していただくために、平成18年度までに公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業のそれぞれについて県内16箇所(平成17年度；各8箇所、平成18年度；各8箇所)にモデル林の設置を行っている。

また、やすらぎの森の開設や、モデル林を活用した各種参加行事を行い、昨年4月から8月末までの間で延べ1,039名、本年4月から5月末までの間で、延べ685名の参加を得た。

### 実施例

#### モデル林の設置状況



公益森林整備事業のモデル林



竹繁茂防止緊急対策事業のモデル林

#### 事業地を活用した取り組み



公益森林整備事業地を活用した  
森林環境学習



竹繁茂防止緊急対策事業地での  
タケノコ採り

(注) モデル林の設置箇所は資料編p.29～p.30を参照。

## 報道発表など

各種事業の実施時期などに合わせたプレスリリース（計45回）を行い、パブリシティを通じた周知にも努めた。新聞報道は延べ45回、テレビでの報道は延べ25回である。



やまぐち森林づくりフェスタの様子を伝える新聞報道（平成19年10月30日）

## 全国の動向

森林環境の保全などを目的とした独自の税の導入は、平成15年度に高知県が導入して以降、16年度に岡山県が、平成17年度には山口県を含む6県が導入しているが、その後、全国的に取り組みが広がっており、平成19年度までに23県が導入し、平成20年度には茨城県や福岡県など6県が新たに導入し、現在、全国で29県が導入している。

これらの独自課税を活用した事業の内容をみると、全国的な課題である間伐を推進する事業をはじめ、針広混交林等への誘導を図る事業、県民参加の森林づくり活動を支援する事業など、それぞれの地域が抱える課題に対応して、森林整備等を推進するための事業を展開している。

（注）税導入県の主な事業の内容は資料編p.31～p.32を参照。

## 4 事業の効果

やまぐち森林づくり県民税は、森林整備を目的とする税として、平成16年3月に公表した「やまぐち森林づくりビジョン」に掲げる「県民との協働による健全で豊かな森林づくり」を具体化するため、幅広い議論を経て、平成17年4月から導入された制度である。

また、税の導入に当たっては、すべての県民がその恵沢を享受している水源のかん養、県土の保全、生活環境の保全、その他の森林の有する多面にわたる機能が持続的に発揮されることの重要性に鑑み、森林の整備に関する費用に充てることとされている。

このような制度の導入経緯を踏まえ、事業効果については、森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮の観点からの評価や、県民の皆様の理解や参加の促進の状況を公表し、「やまぐち森林づくり推進協議会」や県議会をはじめとした幅広い意見をお聴きしながら、今後の取り組みに反映して、県民の皆様の幅広い理解と参加の下、森林づくりビジョンの目指す本県の健全で豊かな森林づくりを進めることとしている。

### (1) 森林の持つ多面的な機能の回復

#### 定点観測の実施

森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるためには、荒廃した森林が「公益森林整備事業」や「竹繁茂防止緊急対策事業」によって着実に再生することが必要条件であるため、平成17年度のこれらの事業地から調査地を選定し、平成18年度から森林環境の変化を追跡調査し事業効果の検証を行っている。

#### ) 公益森林整備事業

森林の特性に合わせて、8箇所の事業地を選定し、詳細な調査を実施するとともに、地域特性を補完するため、8箇所に加えて、24箇所の定点ポイントを設けて森林の再生状況などについて補助調査を実施している。

#### ) 竹繁茂防止緊急対策事業

流域毎に4箇所の事業地を選定し、再生竹の発生や竹林の枯損、森林の再生

状況などについて詳細な調査を実施するとともに、4箇所の定点ポイントを設けて補助調査を実施している。

#### 実施例

#### 平成17年度事業地から調査地を選定



調査地に設定した調査区（10m×10m）



植生の回復状況（現況）

（注）調査内容等の詳細は資料編p.33～34を参照。

#### 事業効果の評価

これまで事業地の継続的な定点観測と合わせ、森林の持つ多面的な機能の回復に関する数量的評価や経済的な評価を行うため、「やまぐち森林づくり県民税関連事業評価システム」を策定し、平成20年3月に公表した。

その概要は次ページのとおりですが、この評価システムの策定に当たっては、国や大学等の研究機関の専門家などで構成する「事業評価システム検討委員会」を設置（注）し、専門的な見地からの意見を踏まえて策定した。

具体的な評価は、この事業評価システムに基づき、平成20年度の1年間で公益森林整備事業の実施箇所等について現地調査を行い、人工降雨装置を使用した雨水流出量や土砂流出量の測定を行うとともに、この調査結果を基に、荒廃森林を整備することにより期待される機能の回復を数量的に評価し、数量的評価で得られた数値などを貨幣換算して経済的な評価を行うこととしている。

また、森林づくり県民税関連事業の実施による経済波及効果についても精査

することとしている。

この評価システムによる調査結果は、森林づくり県民税の見直し年度となる平成21年度での検証資料とすべく、平成21年5月に「やまぐち森林づくり県民税関連事業評価報告書」として公表することとしているが、このような取り組みは本県と同様の森林環境の保全などを目的とする独自の税を導入している県の中で、はじめて実施するものである。

やまぐち森林づくり県民税関連事業評価システムの概要

1 評価項目

森林の持つ多面的な機能の回復に関する数量的な評価  
 森林の持つ多面的な機能の回復に関する経済的な評価  
 森林づくり県民税関連事業の実施による経済波及効果

2 「数量的評価」及び「経済的な評価」が可能な機能に関する評価手法

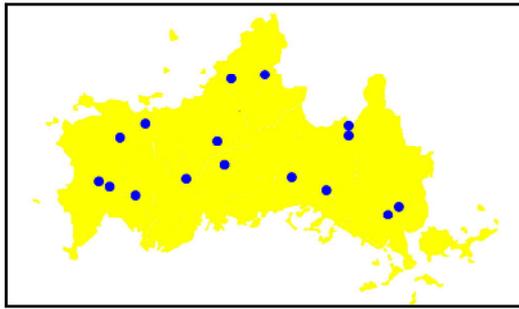
機能の区分		評価数値	数量的評価の手法	経済的な評価の手法
水源 かん 養	水資源 貯留	水資源 貯留量	事業施行地の浸透能を調査することで評価ができるため、人工降雨装置を使用した現地調査と気象庁のアメダスデータにより評価。	「林野公共事業における事前評価マニュアル」を基本とするものの、現地調査等から得られる施行地の数値や山口県のデータを代替し、より実態に即した評価額を算出。
	水質 浄化	水資源 貯留率		
	洪水 緩和	ピーク 流量	事業施行地の浸透能から時間当たりの降雨量に対する流水量が算出できるため、人工降雨装置を使用した現地調査で計測した浸透能と河川計画等で使用する降雨強度式により評価。	
土壌 保全	表面 侵食 防止	総土砂 流出量	人工降雨装置を使用した現地調査により流出する表面土砂量の把握が可能。この現地調査の実測値と気象庁が公表しているアメダスデータから年間の土砂流出量を算出し評価。	
地球 環境 保全	二酸化 炭素 吸収	二酸化 炭素 吸収量	事業施行地が京都議定書における森林吸収源のカウント対象となるため、京都議定書のルールに基づき山口県林分材積表から樹種・年齢別の吸収量を算出し事業面積を乗じることで評価。	海外の排出量取引市場の平均取引価格を単価として、評価額を算出。

3 「経済的な評価」が可能な機能に関する評価手法

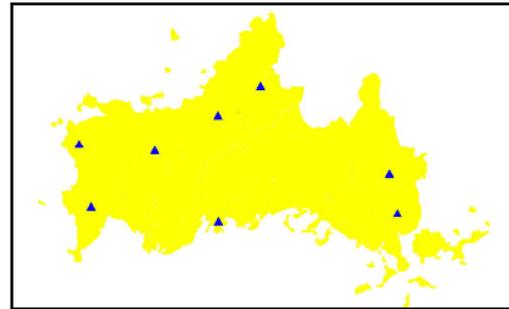
機能の区分		評価数値	経済的な評価の手法
土砂 防 止	表層崩壊防止	県内崩壊率	「林野公共事業における事前評価マニュアル」を基本として、山口県のデータを代替し評価額を算出。
	飛砂防止	事業箇所の平均樹高	
	防風	事業箇所の平均樹高	

#### 4 現地調査箇所

公益森林整備事業（16箇所）



竹繁茂防止緊急対策事業（8箇所）



#### 5 調査スケジュール

	時期	内容	備考
平成20年度	4月～11月	現地調査	人工降雨調査、植生回復状況調査
	12月～3月	データ分析・検証	大学・試験研究機関等との連携
平成21年度	4月～5月	事業評価報告書 とりまとめ・公表	数量的評価、経済的な評価、経済波及効果

（注）委員会の概要は資料編p.34～p.35を参照。

### (2) 県民参加の下に行う豊かな森林づくり

健全で豊かな森林づくりは全県的かつ長期的な取り組みが不可欠であり、このためには県民の皆様の理解と参加が重要である。

このため、県民税導入3年目である平成19年度においては、税制度の導入目的や内容などについて県民の皆様への一層の周知を図るとともに、具体的な税の用途について理解促進を図るため、森林づくりフェスタの開催や県内各地での周知イベントの実施など各種の周知活動に取り組んだ。

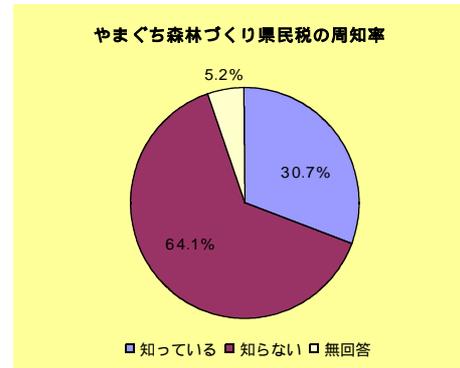
平成19年5月に行われた「県政世論調査」の結果では、森林づくり県民税の周知率は30.7%であり、県民の約3人に1人の割合で周知が図られていることが推測される。

今後とも、「県政世論調査」を継続して実施し、定期的な周知度の把握に努めるとともに、周知活動に反映することとしている。

## 県政世論調査の結果

### 1 調査概要

- (1) 調査地域...山口県全域
- (2) 調査対象...県内に在住する20歳以上の  
男女3,000人
- (3) 調査時期...平成19年5月23日～6月13日
- (4) 回収数...有効回収数(率)  
1,666人(55.5%)



### 2 「知っている」と回答した人の内訳

- (1) 男女別...男性；36.3%、女性；27.0%
- (2) 年代別...20代；11.9%、30代；18.3%、  
40代；25.2%、50代；29.7%、60歳以上；39.5%
- (3) 職業別...農林漁業；43.3%、商工サービス・自由業；32.2%、  
管理職・事務職・専門；29.2%、技能職・労務職；25.3%、  
主婦；27.6%、学生・その他の無職；38.1%
- (4) 広域生活圏別  
...岩国地域；26.2%、柳井地域；34.3%、周南地域；33.5%、  
山口・防府地域；35.8%、宇部・小野田地域；32.6%、  
下関地域；19.8%、長門地域；37.0%、萩地域；42.7%

(注) 県政世論調査の詳細は資料編p.36を参照。

### (3) 経済波及効果等

平成19年度森林づくり県民税関連事業の実施による経済波及や雇用の効果の推計は次表のとおりであり、森林づくりを担う中山間地域の活性化に寄与している。

区分	効果	摘要
経済波及効果	6.1億円	山口県産業連関表により試算
雇用効果	延べ23,000人・日	

今後においては、引き続き、このような経済波及効果等の発揮とともに、やすらぎの森やモデル林などを活用したイベントの開催などにより、交流人口の拡大にも取り組むことで、中山間地域の活性化への寄与が期待される。

## 5 実績報告の周知方法

この実績報告については、森林づくりレポートとして次のような方法により、県民の皆様に幅広く周知し、今後の取り組みについての意見や提言を反映することとしたい。

インターネットによる周知（県ホームページ）

県広報誌「ふれあい山口」による周知

報道発表

県民局、県農林事務所、各市町における閲覧

県・市町の施設やイベント等でのパネル展示

市町・森林組合等関係団体広報誌などによる周知 など

# 資料編

# 1 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

## (1) 公益森林整備事業

### 平成19年度事業実績

区分		箇所数	面積(㌦)	事業費(円)	摘要
岩国	岩国市	159	126.12	63,416,040	
	和木町	3	1.02	504,900	
	小計	162	127.14	63,920,940	
柳井	柳井市	6	5.00	2,460,000	
	周防大島町				
	上関町				
	平生町				
	小計	6	5.00	2,460,000	
周南	周南市	61	69.37	34,976,480	
	下松市	42	27.84	14,254,080	
	光市	28	13.60	7,004,000	
	田布施町				
	小計	131	110.81	56,234,560	
山口 防府	山口市	44	55.39	26,199,470	
	防府市	7	2.96	1,400,080	
	旧美東町	23	19.50	9,360,000	
	旧秋芳町	12	25.65	12,312,000	
	阿東町	19	30.53	14,318,570	
	小計	105	134.03	63,590,120	
宇部 小野田	宇部市	3	1.89	907,200	
	山陽小野田市	16	17.51	8,404,800	
	旧美祢市	18	20.45	9,816,000	
	小計	37	39.85	19,128,000	
下関	下関市	50	45.19	22,075,760	
	小計	50	45.19	22,075,760	
長門	長門市	19	29.85	14,566,800	
	小計	19	29.85	14,566,800	
萩	萩市	73	78.37	38,479,670	
	阿武町	18	7.25	3,559,750	
	小計	91	85.62	42,039,420	
調査費等(注)				1,981,300	
計		601	577.49	285,996,900	計画量 570 <small>㌦</small>

(注) 調査費等の内訳；旅費(358,000円)、需用費(210,000円)、役務費(210,000円)、委託料(1,203,300円)

## 平成19年度までの3年間の事業実績

(単位：%)

区分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	計	摘要
岩国	岩国市	72.94	75.57	126.12	274.63	
	和木町	0.25	0.34	1.02	1.61	
	小計	73.19	75.91	127.14	276.24	
柳井	柳井市	2.07	2.98	5.00	10.05	
	周防大島町	1.48	0.43		1.91	
	上関町					
	平生町	0.75	0.66		1.41	
	小計	4.30	4.07	5.00	13.37	
周南	周南市	46.90	47.87	69.37	164.14	
	下松市	8.85	12.26	27.84	48.95	
	光市	8.10	6.43	13.60	28.13	
	田布施町	0.49			0.49	
	小計	64.34	66.56	110.81	241.71	
山口 防府	山口市	35.65	35.73	55.39	126.77	
	防府市	1.06	1.35	2.96	5.37	
	旧美東町	12.82	17.38	19.50	49.70	
	旧秋芳町	11.49	9.44	25.65	46.58	
	阿東町	11.17	16.14	30.53	57.84	
	小計	72.19	80.04	134.03	286.26	
宇部 小野田	宇部市	2.99	5.06	1.89	9.94	
	山陽小野田市	2.07	5.29	17.51	24.87	
	旧美祢市	10.74	17.33	20.45	48.52	
	小計	15.80	27.68	39.85	83.33	
下関	下関市	36.58	27.59	45.19	109.36	
	小計	36.58	27.59	45.19	109.36	
長門	長門市	19.45	16.55	29.85	65.85	
	小計	19.45	16.55	29.85	65.85	
萩	萩市	44.22	45.00	78.37	167.59	
	阿武町	5.78	5.20	7.25	18.23	
	小計	50.00	50.20	85.62	185.82	
計		335.85	348.60	577.49	1,261.94	

(注) 平成17年度事業計画量：330%、平成18年度事業計画量：350%、平成19年度事業計画量：570%。

## (2) 竹繁茂防止緊急対策事業

### 平成19年度事業実績（竹の全伐）

	区分	箇所数	面積(%)	事業費(円)	摘要
岩国	岩国市	1	1.97	787,500	
	和木町				
	小計	1	1.97	787,500	
柳井	柳井市	1	2.75	1,008,000	
	周防大島町	1	0.84	891,450	
	上関町				
	平生町	2	2.12	3,885,000	
	小計	4	5.71	5,784,450	
周南	周南市	4	9.17	5,544,000	
	下松市	1	3.89	4,515,000	
	光市	1	1.00	651,000	
	田布施町	1	1.50	1,155,000	
	小計	7	15.56	11,865,000	
山口 防府	山口市	3	3.60	2,273,250	
	防府市	2	1.30	1,505,700	
	旧美東町	2	3.50	2,100,000	
	旧秋芳町	1	2.06	840,000	
	阿東町	1	3.40	2,887,500	
	小計	9	13.86	9,606,450	
宇部 小野田	宇部市	1	1.00	537,600	
	山陽小野田市	1	2.45	1,707,300	
	旧美祢市	1	2.87	3,525,900	
	小計	3	6.32	5,770,800	
下関	下関市	4	10.91	8,600,550	
	小計	4	10.91	8,600,550	
長門	長門市	4	8.31	5,360,250	
	小計	4	8.31	5,360,250	
萩	萩市	4	9.42	5,995,500	
	阿武町	1	1.50	283,500	
	小計	5	10.92	6,279,000	
調査費等(注)				5,750,750	
計		37	73.56	59,804,750	計画量 68%

(注) 調査費等の内訳；旅費(352,000円)、需用費(265,000円)、役務費(120,000円)、委託料(5,013,750円)。

## 平成19年度までの3年間の事業実績（竹の全伐）

（単位：㊦）

区分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	計	摘要
岩国	岩国市	13.58	5.61	1.97	21.16	
	和木町					
	小計	13.58	5.61	1.97	21.16	
柳井	柳井市	2.21	4.15	2.75	9.11	
	周防大島町	5.04	4.86	0.84	10.74	
	上関町	1.13			1.13	
	平生町	2.57	1.99	2.12	6.68	
	小計	10.95	11.00	5.71	27.66	
周南	周南市	15.32	20.12	9.17	44.61	
	下松市	7.70	1.00	3.89	12.59	
	光市	2.86	9.32	1.00	13.18	
	田布施町	2.38	2.08	1.50	5.96	
	小計	28.26	32.52	15.56	76.34	
山口 防府	山口市	11.75	11.10	3.60	26.45	
	防府市	1.91	3.86	1.30	7.07	
	旧美東町	1.41	4.40	3.50	9.31	
	旧秋芳町	7.14	5.20	2.06	14.40	
	阿東町	6.03	6.45	3.40	15.88	
	小計	28.24	31.01	13.86	73.11	
宇部 小野田	宇部市	5.24	9.80	1.00	16.04	
	山陽小野田市	3.44	4.10	2.45	9.99	
	旧美祢市	5.79	6.80	2.87	15.46	
	小計	14.47	20.70	6.32	41.49	
下関	下関市	32.30	23.59	10.91	66.80	
	小計	32.30	23.59	10.91	66.80	
長門	長門市	10.07	20.30	8.31	38.68	
	小計	10.07	20.30	8.31	38.68	
萩	萩市	17.72	17.47	9.42	44.61	
	阿武町	4.01	3.05	1.50	8.56	
	小計	21.73	20.52	10.92	53.17	
計		159.60	165.25	73.56	398.41	

（注）平成17年度事業計画量：145㊦、平成18年度事業計画量：155㊦、平成19年度事業計画量：68㊦。

平成19年度事業実績（再生竹の除去）

区分		箇所数	面積（％）	事業費（円）	摘要
岩国	岩国市	12	19.19	1,659,000	
	和木町				
	小計	12	19.19	1,659,000	
柳井	柳井市	2	6.36	1,394,400	田布施町を含む
	周防大島町	3	9.90		
	上関町	1	1.13	1,197,000	
	平生町	2	4.56		
	小計	8	21.95	2,591,400	
周南	周南市	9	35.44	4,689,300	
	下松市	2	8.70	1,149,750	
	光市	3	12.18	1,690,500	
	田布施町	2	4.46	（注）	
	小計	16	60.78	7,529,550	
山口 防府	山口市	23	22.85	2,772,000	
	防府市	4	5.77	577,500	
	旧美東町	4	5.81	892,500	
	旧秋芳町	5	12.34	1,728,300	
	阿東町	5	12.48	1,165,500	
	小計	41	59.25	7,135,800	
宇部 小野田	宇部市	3	15.04	2,211,300	
	山陽小野田市	2	7.54	1,008,000	
	旧美祢市	4	12.59	1,008,000	
	小計	9	35.17	4,227,300	
下関	下関市	14	55.89	5,484,150	
	小計	14	55.89	5,484,150	
長門	長門市	11	30.37	3,885,000	
	小計	11	30.37	3,885,000	
萩	萩市	13	35.19	3,769,500	
	阿武町	3	7.06	609,000	
	小計	16	42.25	4,378,500	
調査費等					
計		127	324.85	36,890,700	計画量324.85％

（注）柳井市、周防大島町、上関町、平生町及び田布施町は、田布施農林事務所の管轄であり、事業規模が小さいことから、地域性を考慮して一括発注としています。

(3) やすらぎの森整備事業  
平成19年度事業実績

圏域	市町名	所在地	名称	事業費(円)	事業内容
柳井	柳井市	柳井	琴石グリーンパーク	9,179,100	・森林整備 0.84㍍ ・植栽 ヤマザクラ等140本 ・東屋1棟 ・解説板2基 ・遊歩道 364㍍
周南	周南市	須々万	ふれあいの森	10,888,500	・森林整備 0.10㍍ ・遊歩道(ユニバーサル) 140㍍ ・バリアフリースイール1棟
下関	下関市	菊川町	多武の峰公園	9,599,100	・森林整備 1.95㍍ ・植栽 ヤマザクラ等120本 ・遊歩道 222㍍ ・木製ベンチ5基
		事務費		332,000	
計				29,998,700	

平成19年度までの3年間の事業実績

圏域	市町名	所在地	名称	整備年度	事業内容
柳井	柳井市	柳井	琴石グリーンパーク	平成19年度	景観整備、遊歩道、東屋等
周南	周南市	須々万	ふれあいの森	平成19年度	景観整備、バリアフリースイール等
	光市	束荷	伊藤公記念館周辺	平成17年度	植栽、遊歩道、展望広場等
山口 防府	山口市	大原東	長者ヶ原 (森林77°-基地周辺)	平成17年度	植栽、東屋、ベンチ等
宇部 小野田	宇部市	川上	霜降山 (生活環境保全林)	平成17年度	エコトイレ
下関	下関市	豊北町	大浦岳 (生活環境保全林)	平成18年度	景観整備、遊歩道、東屋
	下関市	菊川町	多武の峰公園	平成19年度	景観整備、遊歩道、ベンチ等
長門	長門市	仙崎	青海島 (生活環境保全林)	平成18年度	景観整備、遊歩道(ユニバーサル)
萩	萩市	椿東	田床山 (生活環境保全林)	平成18年度	景観整備、遊歩道、ベンチ
計	8市	9箇所			

#### (4) 魚つき保安林等海岸林整備事業

##### 平成19年度事業実績

圏域	市町名	所在地	面積(㊦)	事業費(円)	事業内容
長門	長門市	西深川 小松原	0.50	2,358,300	・抵抗性きらら松 317本植栽 ・防風垣設置 65㊦
萩	阿武町	奈古松原	1.50	2,504,250	・抵抗性きらら松 660本植栽 ・防風垣設置 438㊦
		事務費		137,000	
計			2.00	4,999,550	

##### 平成19年度までの3年間の事業実績

圏域	市町名	所在地	面積(㊦)	整備年度	整備内容
宇部 小野田	宇部市	西岐波白土	1.50	平成18年度	抵抗性きららマツ植栽 防風垣設置
長門	長門市	西深川小松原	0.50	平成19年度	抵抗性きららマツ植栽 防風垣設置
	長門市	仙崎青海島	1.40	平成17年度	抵抗性きららマツ植栽
萩	萩市	檀島	0.60	平成17年度	抵抗性きららマツ植栽 防風垣設置
	萩市	大井鷓山	0.50	平成18年度	抵抗性きららマツ植栽 防風垣設置
	阿武町	奈古松原	1.50	平成19年度	抵抗性きららマツ植栽 防風垣設置
計	3市1町		6.00		

## 2 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

### (1) 周知活動

区分	数量	対象者等
県政放送等		
テレビ（元気です！やまぐち/ 教えて！リカちゃん）	3回（5月6日、13日、 14日）	一般県民
VODやまぐち（インターネット）	掲載中	一般県民
広報誌（ふれあい山口）	1回（11月号）	県内全世帯
各種イベントの開催		
森林づくりフェスタ	1回（10月28日）	一般県民
地域行事	15回（10月～11月）	一般県民
モデル林等の活用	19回（H19:3月～8月） 10回（H20:4月～5月）	親子等
広報ツール		
パネル展示	56回（4月～3月）	一般県民
森林づくりレポート	3,000部（10月）	一般県民

### (2) やまぐち森林づくり推進協議会の開催

#### やまぐち森林づくり推進協議会委員

区分	氏名	所属・職名	
会長	学識経験者 藤井 大司郎	山口大学経済学部長	
委員	経済団体	冷泉 憲一	山口県商工会議所連合会専務理事
		中谷 実	山口県中小企業団体中央会理事
	消費者団体	中山 光江	山口県消費者団体連絡協議会幹事
		山本 和子	山口県地域消費者団体連絡協議会会長
	公募委員	村田 悟	（学）日本医療学園附属東亜看護学院事務長
		永田 美穂	山口短期大学非常勤講師
	森林・林業 関係者	木村 誠	山口県林業研究グループ連絡協議会会長
		藤井 キクエ	山口県農山漁村女性連携会議会長
		園田 秀則	NPO法人やまぐち里山人ネットワーク理事長
	市町関係者	青木 龍一	周南市経済部長

## 開催状況

開催日	開催場所	開催内容
平成19年5月31日	県庁共用第4会議室	平成19年度事業の実施計画の協議
平成19年9月13日	県庁共用第4会議室	平成18年度事業の実績報告の協議 県民税関連事業評価システムの協議
平成20年2月21日	県庁共用第2会議室	平成20年度事業計画等の協議 県民税関連事業評価システムの協議

### (3) モデル林の設置

#### 公益森林整備事業のモデル林

##### ) 平成17年度設置箇所

番号	場所	面積(㊦)	摘要
1	岩国市錦町広瀬字中ノ迫	1.63	ヒノキ
2	柳井市日積字北戸石	0.25	ヒノキ
3	周南市大字須々万本郷字下鹿堀	0.76	ヒノキ
4	山口市上宇野令字一ノ谷	2.45	スギ・ヒノキ
5	山陽小野田市大字山川字立原	0.51	ヒノキ
6	下関市大字植田字丑ヶ浴	0.20	スギ・ヒノキ
7	長門市油谷伊上字下畑東	3.00	スギ・ヒノキ
8	萩市大字紫福字西ヶ佐古	0.80	スギ・ヒノキ

##### ) 平成18年度設置箇所

番号	場所	面積(㊦)	摘要
1	岩国市錦町大野字大浴	4.14	スギ・ヒノキ
2	柳井市日積字上の場	0.55	ヒノキ
3	周南市大字高瀬字清水ヶ浴	0.37	スギ・ヒノキ
4	山口市小郡上郷字木船下	5.20	スギ・ヒノキ
5	美祢市伊佐町堀越字笹尾	1.34	ヒノキ
6	下関市豊田町大字殿居字羽山ヶ浴	1.46	スギ・ヒノキ
7	長門市深川湯本字井出ヶ迫	3.31	スギ・ヒノキ
8	萩市川上字平内	0.77	スギ・ヒノキ

## 竹繁茂防止緊急対策事業のモデル林

### ) 平成17年度設置箇所

番号	場所	面積(㊦)	摘要
1	岩国市大字行波字野地	0.83	モウソウチク
2	柳井市日積字小田	0.74	モウソウチク
3	周南市大字湯野字郷谷	5.58	モウソウチク
4	山口市宮野下字門前	0.91	モウソウチク
5	宇部市大字小野字柿名ヶ迫	2.96	モウソウチク
6	下関市大字植田字丑ヶ浴	2.18	モウソウチク
7	長門市油谷久富字水神	0.62	マダケ
8	阿東町大字嘉年上字水出	1.34	マダケ

### ) 平成18年度設置箇所

番号	場所	面積(㊦)	摘要
1	岩国市玖珂町字前植山	0.42	モウソウチク
2	田布施町大字大波野字道河内	0.87	モウソウチク
3	下松市大字来巻字大蔵	0.51	モウソウチク
4	山口市阿知須字後河内	0.64	モウソウチク
5	美東町大字赤字中原	0.86	モウソウチク
6	下関市豊北町滝部字青木ヶ原	0.67	マダケ
7	長門市日置上字河原田	3.71	モウソウチク
8	萩市大字明木字上ノ芝	2.05	モウソウチク

### 3 独自課税を活用した主な事業の内容

県名	名称	主な事業内容	導入年度
高知県	森林環境税	若齢林を中心とした間伐の促進により荒廃を予防し公益的機能を発揮できる森林を整備、森林環境教育など県民の主体的な森林保全への取組を支援 など	15
岡山県	おかやま森づくり県民税	間伐未実施の奥世林や高齢級級の人工林の保育間伐を実施、新規就業者を対象とする職場内研修に対する助成及び研修の場の提供 など	16
山口県	やまぐち森林づくり県民税	森林の持つ多面的な機能の回復が必要な荒廃した人工林を対象に強度間伐を実施し、針広混交林へ誘導、繁殖拡大した竹の伐採等による荒廃森林の再生 など	17
鳥取県	森林環境保全税	針広混交林化を図るため強度な間伐を実施、保安林の機能強化（間伐・作業道支援）竹林の適正管理、企画提案による森づくりへの参加を促す森林体験等の支援 など	
島根県	島根県水と緑の森づくり税	重要な水源地域等の10年以上間伐未実施の人工林において協定に基づき不要木の伐採等、県民自らが企画・立案した森づくりの取組を支援 など	
愛媛県	森林環境税	河川源流域の森林を強度間伐により針広混交林等へ誘導、公共施設等への地味林利用に助成、県民が自発的に取り組む森林の活用等を支援 など	
熊本県	水とみどりの森づくり税	間伐未実施で放置された人工林において協定に基づき強度間伐を実施し針広混交林化を促進、森林ボランティア種への総合的な支援 など	18
鹿児島県	森林環境税	公益上重要な森林等で間伐等における間伐等の実施や荒廃竹林の整備、県民が自ら実施する森林・林業の学習・体験種加、県産材を用いた木造施設整備等を支援 など	
岩手県	いわての森林づくり県民税	公益上重要で緊急に整備の必要な人工林において協定に基づき強度間伐を実施し針広混交林へ誘導、地域住民等による身近な里山林の整備を支援 など	
福島県	森林環境税	荒廃が懸念される水源区域において間伐等を実施、市町村への交付金による森づくり、県産間伐材利用・森林環境学習・森林ボランティア種加の促進 など	
静岡県	森林（もり）づくり県民税	公益性が高い森林所有者による整備が困難なために荒廃している森林の整備（人工林の強度な伐採による針広混交林化、竹林の広葉樹林化、広葉樹林の適正密度化）など	19
滋賀県	琵琶湖森林づくり県民税	奥地等の放置された人工林において強度間伐を実施し針広混交林へ誘導及び森林見直し調査等の実施、県産材の積極的な利用等を普及啓発 など	
兵庫県	県民森税	急傾斜地等の人工林の防災機能を高めるため間伐木を利用した土留工の設置、集落裏山の防災機能を高めるため森林整備に併せ簡易防災施設の設置 など	
奈良県	森林環境税	10年以上間伐未実施で緊急に整備が必要な人工林について協定に基づき強度間伐を実施、荒廃した里山林の整備、森林環境教育の推進 など	
大分県	森林環境税	災害発生等が懸念される荒廃した人工林を協定に基づき強度間伐により針広混交林へ誘導、ボランティア種加や担手の支援、県産材利用促進 など	19
宮崎県	森林環境税	公益上重要で長期間伐放置された森林において実施する広葉樹の植栽や強度間伐による針広混交林への誘導、森林ボランティア団体や企業等の森づくり種加への支援 など	
山形県	やまがた緑税	公益上重要な荒廃した人工林を対象に強度間伐を実施し針広混交林へ誘導、荒廃した里山林の再生、市町村が自ら実施する森づくりや自然環境の保全種加への支援 など	
神奈川県	水源環境保全・再生のための個人県民税の超額課税措置	水源地域の保全上重要な森林の買入れや整備協定など県による私有林の公的管理・支援、間伐材の搬出促進、市町村が行う私有林の公的管理・支援への助成 など	
富山県	水と緑の森づくり税	風雪被害林や過密人工林で整理伐を実施し針広混交林へ誘導、県民協働による里山林整備、森林ボランティア種加支援、森林環境教育の推進、県産材利用促進 など	19
石川県	いしかわ森林環境税	水源地域等の手入れが不足した人工林を対象に強度間伐を実施し針広混交林へ誘導、県民の理解と参加による森づくりの促進 など	
和歌山県	紀の国森づくり税	放置され荒廃した森林の公益的機能の回復、森林の重要性の普及啓発などNPOや市町村等々からの自発的な取組への支援 など	
広島県	ひろしまの森づくり県民税	放置され荒廃した緊急に整備が必要な人工林の間伐等の実施、里山林の整備、NPO等の自らの企画・取組や森林・林業体験種加への支援 など	
長崎県	ながさき森林環境税	重要な水源林である「ながさき水源の森」を対象に手入れ不足の人工林の間伐を実施し針広混交林へ誘導、風倒被害林の伐採・整理、県民参加による森づくり種加の支援 など	

県名	名称	主な事業内容	導入年度
秋田県	秋田県水と緑の森づくり税	生育の思わしくないスギ人工林を針広混交林へ誘導、環境教育の場として利用するための里山林の整備、松くい虫被害を受けた松林の整備、県民提案による森づくり活動の支援 など	20
茨城県	茨城県森林回復環境税	荒廃した森林のうち水源かん養機能等を高度に発揮すべき森林において間伐を実施、平地林・里山林の整備、県産材利用の促進、県民協働の森づくりの推進 など	
栃木県	とちぎの元気な森づくり県民税	公益的機能の発揮が求められているにもかかわらず荒廃している人工林での強度間伐を実施、人家等周辺の里山林の整備、県民による森づくり活動への支援 など	
長野県	長野県森林づくり県民税	集落周辺の里山林での間伐の実施や、間伐を推進するための地産主体の取組への支援、人材育成を行う事業者への支援、市町村の森づくり施策への支援 など	
福岡県	森林環境税	長期間放置され荒廃した人工林の間伐、伐採後植林しないまま放置されている林地への広葉樹の植栽、ボランティア団体・NPO等による森づくり活動への支援 など	
佐賀県	佐賀県森林環境税	荒廃した人工林を強度間伐により針広混交林へ誘導、公有林化により市町村が荒廃した森林等の管理を推進、県民等による荒廃した森林を再生する取組の支援 など	

(注) 森林・林業白書(平成20年版)より引用。

## 4 事業の効果

### (1) 森林の持つ多面的な機能の回復

#### 定点観測の調査内容等

事業名	調査項目	調査内容	詳細調査	補助調査
公益森林整備事業	針広混交林への誘導効果	地況調査（調査区の地形・地質等） 上層木調査（強度間伐実施後の上層木成長経過） 混交林化調査（広葉樹の侵入状況と成長経過） 光環境調査（林内相対照度の変化） 混交林化補助調査（混交林化阻害要因への対応）		
	水土保全機能の回復効果	土壌被覆率調査（下層植生等による土壌被覆率の経年変化） 土壌浸透能調査（表層土壌浸透能の経年変化）		
竹繁茂防止緊急対策事業	竹皆伐による森林再生効果	地況調査（調査区の地形・地質等） 竹の減少量調査（皆伐後の再生竹量の経年変化） 森林再生調査（広葉樹の侵入状況と成長経過） 森林の再生補助調査（森林化阻害要因への対応）		
	水土保全機能の回復効果	土壌被覆率調査（下層植生等による土壌被覆率の経年変化） 土壌浸透能調査（表層土壌浸透能の経年変化）		

（注）詳細調査は県農林総合技術センター林業技術部、補助調査は農林事務所森林部が実施。

#### 位置図



## 調査箇所

### ) 公益森林整備事業

番号	森林の特性	所在地	樹種	面積(畝)
	急峻部・湿潤	岩国市錦町大字広瀬	スギ・ヒノキ	5.21
	丘陵部・乾燥	柳井市大字伊陸	スギ	0.55
	急峻部・乾燥	周南市大字須々万	ヒノキ	2.30
	丘陵部・湿潤	萩市大字片俣	スギ・ヒノキ	2.33
	丘陵部・乾燥	山口市上宇野令	ヒノキ	2.01
	平地部・湿潤	長門市深川湯本	スギ・ヒノキ	6.39
	平地部・乾燥	美祢市西厚保町	ヒノキ	2.30
	鳥獣被害想定地	下関市菊川町大字上岡枝	スギ・ヒノキ	3.31

### ) 竹繁茂防止緊急対策事業

番号	流域	所在地	種類	面積(畝)
	岩徳	岩国市大字行波	モウソウチク	0.83
	山口	美祢市於福下	モウソウチク	0.78
	豊田	下関市大字植田	モウソウチク	2.18
	萩	萩市川上	モウソウチク	1.37

## やまぐち森林づくり県民税関連事業評価システム検討委員会委員

区分	氏名	所属・職名
委員長	小川 滋	福岡工業大学社会環境学部長、九州大学名誉教授
委員	恩田 裕一	筑波大学大学院生命環境科学研究科准教授
	松浦 純生	独立行政法人森林総合研究所水土保全研究領域長
	野村 淳一	山口大学経済学部准教授
	興梠 克久	九州大学大学院農学研究院森林政策学研究室助教
	荒瀬 和男	山口県農林総合技術センター林業技術部長

## 開催状況

開催日	開催場所	開催内容
平成19年9月20日	県庁共用第5会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民税関連事業の概要と評価システムの考え方について</li> <li>・ 県民税関連事業の評価方法に関する意見交換</li> </ul>
平成19年11月29日	アクロス福岡 会議室602(福岡市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回委員会の検討結果を踏まえての調査研究結果の報告</li> <li>・ 調査研究結果に基づく評価手法(案)の全体概要のとりまとめ</li> <li>・ 評価手法(案)の個別事項の検討</li> </ul>
平成20年1月31日	山口県東京事務所分室 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査研究報告書(案)のとりまとめ</li> </ul>

## (2) 県政世論調査の結果

### やまぐち森林づくり県民税の認知状況

(単位；%)

区分		知っている	知らない	無回答	摘要
総数		30.7	64.1	5.2	
広域生活圏別	岩国地域	26.2	66.7	7.1	
	柳井地域	34.3	59.7	6.0	
	周南地域	33.5	62.8	3.7	
	山口・防府地域	35.8	59.7	4.5	
	宇部・小野田地域	32.6	63.6	3.7	
	下関地域	19.8	73.0	7.2	
	長門地域	37.0	59.8	3.3	
	萩地域	42.7	53.8	3.5	
性別	男性	36.3	59.1	4.6	
	女性	27.0	67.6	5.4	
年代別	20代	11.9	85.8	2.3	
	30代	18.3	80.8	0.8	
	40代	25.2	71.5	3.4	
	50代	29.7	65.2	5.0	
	60歳以上	39.5	53.4	7.1	
職業別	農林漁業(家族従業者)	43.3	47.5	9.2	
	商工サービス・自由業	32.2	61.3	6.5	
	管理職・事務職・専門	29.2	67.7	3.1	
	技能職・労務職	25.3	72.9	1.8	
	主婦	27.6	68.3	4.1	
	学生・その他の無職	38.1	53.5	8.4	

### やまぐち森林づくり県民税で行っている事業の内容について

(単位；%)

区分	知っている	知らない	無回答	摘要
総数	66.2	32.4	1.4	

(注) やまぐち森林づくり県民税を「知っている」と回答された方への質問。

### 森林の持っている働きについて

(単位；%)

区分	知っている	知らない	無回答	摘要
総数	88.7	5.3	6.0	